

地方独立行政法人さんむ医療センター  
平成 26 事業年度の業務実績に関する評価結果

平成 27 年 7 月

地方独立行政法人さんむ医療センター評価委員会

## 目 次

年度評価の考え方	1
<評価の基本方針>	1
<年度評価の方法>	1

### 地方独立行政法人さんむ医療センター平成26事業年度の業務実績に関する評価結果

第1 全体評価	
1 評価結果	3
2 全体評価にあたって考慮した事項	3
3 評価にあたっての意見、指摘等	4
第2 大項目評価	
1 「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する大項目評価	4
(1) 評価結果	4
(2) 判断理由	4
大項目評価に当たり考慮した事項	5
(3) 評価に当たっての意見、指摘等	6
2 「業務運営の改善及び効率化に関する事項」に関する大項目評価	6
(1) 評価結果	6
(2) 判断理由	6
大項目評価に当たり考慮した事項	7
(3) 評価に当たっての意見、指摘等	7
3 「その他業務運営に関する重要事項」に関する大項目評価	8
(1) 評価結果	8
(2) 判断理由	8
大項目評価に当たり考慮した事項	8
(3) 評価に当たっての意見、指摘等	8
○地方独立行政法人さんむ医療センター評価委員会委員名簿	9
○平成26年度地方独立行政法人さんむ医療センター評価委員会開催経過	9

## 年度評価の考え方

地方独立行政法人さんむ医療センター評価委員会では、平成 22 年 4 月 1 日に設立された地方独立行政法人さんむ医療センターについて、法人化して 5 年目の平成 26 事業年度の業務実績に関する評価を行った。

### <評価の基本方針>

- (1) 中期目標・中期計画の達成状況等からさんむ医療センターの業務運営等に関して多面的な観点から総合的に評価を行い、さんむ医療センター運営の質的向上に資するものとする。
- (2) 評価を通して、中期目標・中期計画の達成状況や取り組み状況を市民に分かりやすく示すものとする。
- (3) 業務運営の改善や効率化等の特色ある取り組みや様々な工夫を積極的に評価するものとする。
- (4) さんむ医療センターを取り巻く環境の変化等を踏まえ、必要に応じて評価の方法を見直すものとする。

### <年度評価の方法>

当該年度計画に定めた事項ごとに行う「項目別評価」と業務実績全体の進捗状況について行う「全体評価」の2つを併せて行った。

#### (1) 項目別評価の方法

項目別評価は、①評価委員会による小項目評価、②評価委員会による大項目評価の手順で行った。

##### ① 小項目評価

評価委員会において、法人の自己評価及び目標設定の妥当性などを総合的に検証し、年度計画の小項目ごとの進捗状況について評価を行った。

評価委員会による評価と法人の自己評価が異なる場合には、評価委員会が評価の判断理由等を示した。また、必要に応じて特記すべき点などについてコメントを付した。

##### ② 大項目評価

評価委員会において、小項目評価の結果、特記事項の記載内容等を考慮し、大項目ごとの進捗状況について評価を行った。

(2) 全体評価の方法

- ① 評価委員会において、項目別評価の結果を踏まえ、年度計画及び中期計画の全体的な進捗状況について、記述式による評価を行った。
- ② 全体評価においては、地方独立行政法人化を契機とした病院改革の取り組み（さんむ医療センター運営における自律性・機動性の発揮、財務内容の改善、病院運営の透明性の向上など）を積極的に評価した。

## 地方独立行政法人さんむ医療センター平成 26 事業年度の業務実績に関する評価結果

### 第 1 全体評価

#### 1 評価結果

地方独立行政法人さんむ医療センターは、平成 22 年 4 月 1 日に地方独立行政法人として設立され 5 年目の決算を迎えました。また、平成 26 年 4 月より第 2 期の中期目標及び中期計画が始まっています。

平成 26 事業年度の業務実績については、年度計画で掲げている 3 つの大項目評価「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」、「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」及び「その他業務運営に関する事項」において、中期計画目標数値の全ての達成には至らなかったが厳しい医療環境下で経営の安定に努力したことが認められ、全て B 評価となりました。

#### 2 全体評価にあたって考慮した事項

- (1) 「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」の大項目においては、看護師及び医療技術職員の確保対策として、看護実習生・看護体験学習・インターンシップの受入れや、看護学生に対する奨学金貸付制度による貸付者が 5 名であったこと、看護師離職率も 6.8% と低い値であったこと、医療職の専門性及び医療技術の向上のため、研修計画に基づき積極的に研修の支援を行ったことがあげられる。一方、常勤医師は、眼科医師 1 名増員したものの小児科医師 1 名が減員となり、平成 26 年度末の常勤医師数は 24 名で目標値の 25 名には達しなく厳しい状況であること、また看護師においても人数が目標値に達しなかったことなどから課題があるが、サービスの向上と経営の効率化等に積極的な取り組みを行い、患者及び住民の医療ニーズに対し最大限に応え良好な業務結果を残したことにより **B 評価**とした。
- (2) 「業務運営の改善及び効率化に関する事項」の大項目において、評価すべき内容は、DPC について、経営コンサルタントと毎月定例検討会議を設けて経営管理機能の強化を図り、その効果が現われていること、回復期リハビリテーション病棟並びに緩和ケア病棟の病床率の向上を図り地域医療機能の拡充が認められる。一方、人件費比率の数値が高いこと、入院患者数が目標に達していないことなどから、**B 評価**とした。

### (3) 特筆すべき取り組み

- ① 看護師及び医療技術職員の人材確保のため、積極的に看護実習、看護体験学習を行っている。
- ② 研修計画に基づき積極的に研修の支援を実施している。
- ③ 医療機器について分娩台一式他 21 品目について購入し、整備・更新を行ったこと。
- ④ 山武郡市医師会と連携した休日当番体制及び病院群輪番制二次救急医療体制の実施に努力したこと。
- ⑤ 看護師の人材確保に努め、離職率が 6.8%であったこと並びに認定看護師が 2 人増員の 5 人になったこと。
- ⑥ 平成 26 年 1 月より緩和ケア病棟を開設し、がん患者の受け入れを強化していること。

### 3 評価にあたっての意見、指摘等

- ア 職員の就労環境の整備については具体的な取り組みに努め、医師及び看護師の確保に努め、人材確保のため長期計画をたてること。
- イ 回復期リハビリテーション診療及び緩和ケア診療の計画的な取り組みに努め、医療収益の向上に努め、損益計算をだすこと。
- ウ 人間ドックの受診者を増やすよう努めること。
- エ 人件費比率を低減するよう努めること。
- オ 今後の消費税増税についての対策を行うこと。
- カ 引き続き、二次救急医療輪番体制を担い地域の特性に配慮した医療に努めること。
- キ 損益については前年に引き続き 1 億 3,046 万 6,879 円の黒字となり、経営状況は、概ね順調である。

## 第 2 大項目評価

1 「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する大項目評価

### (1) 評価結果

#### B 評価

### (2) 判断理由

小項目の集計結果（《第 2 表 小項目評価の集計結果》参照）では、B 評価となるが、下記の【大項目評価に当たり考慮した事項】で示しているように、住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置の中で、救急医療の充実、医療水準の向上、患者サービスの一層の向上、安心して信頼できる良質な医療の提供などの成

果を踏まえて総合的に評価し、B評価が妥当であると判断した。

《 第1表 大項目の評価方法 》

大項目評価は、小項目評価の結果、特記事項等の内容を考慮し、大項目ごとに中期目標・中期計画の達成に向けた進捗状況について、次の4段階により評価する。

A：中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおりに進んでいる

B：中期目標・中期計画の達成に向けて概ね計画どおりに進んでいる

C：中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている

D：中期目標・中期計画の達成のためには改善事項あり

【大項目評価に当たり考慮した事項】

① 小項目評価がA（年度計画以上に実施している）の評価の項目は、次の3件であった。

ア 看護師及び医療技術職員の人材確保〔項目番号：第2-2-（1）-イ〕

看護実習生208名、看護体験学習・インターンシップ7名を受入れた。奨学金制度については、看護学生5名への貸与を決定した。平成26年度看護師入職者13名、離職率6.8%

イ 医療職の専門性及び医療技術の向上〔項目番号：第2-2-（2）-イ〕

研修計画に基づき積極的に研修の支援を行い専門的分野での資格取得を促進し、「自己啓発休業に関する規定」を制定し、認定看護師履修にかかる費用等についての奨学金制度を活用した。平成26年度認定看護師資格を2名取得した。

ウ 医療職の専門性及び医療技術の向上〔項目番号：第2-2-（2）〕

平成27年3月31日現在における認定看護師は目標である5名に達成した。

《 第2表 小項目評価の集計結果 》

評価対象項目数41項目に対し、A：年度計画以上に実施している項目数が3項目、B：年度計画をほぼ順調に実施している項目数が35項目であり、割合は35/41と8割以上を占めることから、小項目評価の集計では、B評価（中期目標・中期計画の達成に向けて概ね計画どおりに進んでいる）とした。

分野	評価対象項目数	A：年度計画以上に実施している	B：年度計画をほぼ順調に実施している	C：年度計画を十分に実施できていない	D：年度計画を大幅に下回っている
1 地域の特性に配慮した医療の確立と提供	3		2	1	
2 医療水準の向上	15	3	11	1	
3 患者サービスの一層の向上	10		10		
4 安心して信頼できる良質な医療の提供	7		7		
5 市の医療施策推進における役割	6		5	1	
合計	41	3	35	3	

### (3) 評価に当たっての意見、指摘等

- ア 医師・看護師等の人的資源を確保出来るかが課題である。
- イ 看護師の離職率が6.8%で低く、引き続き働きやすい魅力ある病院であることを存続すること。
- ウ 安心・安全な医療を地域に提供すること。

## 2 「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する大項目評価

### (1) 評価結果

#### B評価

### (2) 判断理由

小項目の集計結果（《第3表 小項目評価の集計結果》参照）では、B評価となるが、下記の【大項目評価に当たり考慮した事項】で示しているように、業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置の中で、地方独立行政法人としての運営管理体制の確立、効率的かつ弾力的な業務運



営などの成果を踏まえて総合的に評価し、B評価が妥当であると判断した。

【大項目評価に当たり考慮した事項】

- ① 小項目評価がA（年度計画以上に実施している）の評価の項目は、次の2件であった。
- ア 後発医薬品の使用割合増による医薬品費の削減〔項目番号3-2-（8）-ウ〕  
後発医薬品の切替えについては、薬事委員会が中心となり積極的に切替えを行い費用の削減に努めた。
- イ 後発医薬品の適用率〔項目番号3-2-（8）-ウ〕  
採用割合 27.0%（目標値 22.0%）  
数量ベース 75.2%（目標値 60.0%）

《 第3表 小項目評価の集計結果 》

評価対象項目数 22 項目に対し、B：年度計画をほぼ順調に実施しているが 19 項目であり、割合は 19/22 と 8 割以上を占めることから、小項目評価の集計では、B評価（中期目標・中期計画の達成に向けて概ね計画どおりに進んでいる）とした。

分野	評価対象項目数	A：年度計画以上に実施している	B：年度計画をほぼ順調に実施している	C：年度計画を十分に実施できていない	D：年度計画を大幅に下回っている
1 地方独立行政法人としての運営管理体制の確立	1		1		
2 効率的かつ効果的な業務運営	21	2	18	1	
合計	22	2	19	1	

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

- ア 人間ドック受診者を増やし、CT、MRIの稼働率向上を図ること。
- イ 人件費比率を低減するよう努めること。
- ウ 正規職員の短時間勤務制度等を実施することにより、職員の働きやすく働き甲斐のある就労環境の整備ができるので導入検討すること。
- エ 費用の節減に引き続き努めること。

### 3 「その他業務運営に関する重要事項」に関する大項目評価

#### (1) 評価結果

##### B評価

#### (2) 判断理由

小項目の集計結果（《第4表 小項目評価の集計結果》参照）では、B評価となる。下記の【大項目評価に当たり考慮した事項】で示しているように、その他業務運営に関する重要事項の中で、施設整備の推進の成果を踏まえて総合的に評価し、B評価が妥当であると判断した。

##### 【大項目評価に当たり考慮した事項】

① 小項目評価がA（年度計画以上に実施している）の評価の項目はありませんでした。

##### 《 第4表 小項目評価の集計結果 》

評価対象項目数8項目に対し、B：年度計画をほぼ順調に実施しているが8項目であり、割合は8/8と全てを占めることから、小項目評価の集計では、B評価とした。

分野	評価対象項目数	A：年度計画以上に実施している	B：年度計画をほぼ順調に実施している	C：年度計画を十分に実施できていない	D：年度計画を大幅に下回っている
1 施設整備の推進	8		8		
計	8		8		

#### (3) 評価に当たっての意見、指摘等

ア 地域包括ケア病棟設立の推進に努められたい。

○地方独立行政法人さんむ医療センター評価委員会 委員名簿

	氏 名	役 職 等
委 員 長	村 上 信 乃	総合病院国保旭中央病院名誉院長
副 委 員 長	長 隆	東日本税理士法人代表
委 員	伊 藤 よしみ	山武市三師会会長
委 員	加 藤 誠	成田赤十字病院院長
委 員	亀 田 信 介	亀田総合病院院長
委 員	宍 倉 弘 康	山武市議会議長
委 員	松 原 久 裕	千葉大学 大学院医学研究院 教授 医学部附属病院 副院長
委 員	水 田 宗 子	学校法人城西大学理事長

(敬称略、委員は五十音順)

○平成 27 年度地方独立行政法人さんむ医療センター評価委員会開催経過

日 程	審 議 議 題
第 1 回 平成 27 年 7 月 10 日 (金) 山武市役所 第 5 会議室	① 地方独立行政法人さんむ医療センターにおける平成 26 事業年度の業務実績評価及び財務諸表への意見について